

法人本部

1. 理事会、評議員会の開催状況

会 議	開催日	主 な 内 容
理事会	4月12日	平成29年度介護職員処遇改善手当支給額について
	6月8日	平成28年度事業報告、決算について、定款変更について他
	6月15日	理事長、常務理事の選任について他
	12月7日	定款変更、定款細則の一部改正について他
	3月22日	平成30年度事業計画、予算、経理規程の改正について他
評議員会	6月15日	平成28年度事業報告、決算、定款変更、理事監事の選任について他
	12月15日	補正予算、定款変更について他
	3月29日	平成30年度事業計画、予算、経理規程の改正について他

2. 監事監査

4回（5/30・31、8/27、12/5、2/28）

3. 内部監査

4回（5/26、8/22、11/22、2/20）

4. 運営会議（課長以上）

7回（5/19、7/21、8/22、11/13、1./30、2/23、3/9）

5. 部長会 適時開催

6. 法人役員研修

- ・社会福祉法人監事研修 7月6日
- ・「雲南市の福祉行政について」 7月26日

7. 全体職員研修

5月8日、9日	交通安全について
8月24日	人権について
12月5日、12日	感染症について
2月19日、22日	救急法について

8. 遊和会事業（互助会）

- ・軽スポーツ大会 6/8
- ・納涼祭 7/26
- ・会食会（夜なべ会）11月～12月
- ・新年会 1/4

9. つつじホール駐車場整備（完了） 8月

10. 雲南市実地指導監査 9月28日

11. 大東税務署調査 2月2日

12. その他の実施事業

- ・ふれあい祭り（10./29 台風のため中止）
- ・職員採用試験の実施 9月18日
- ・職員登用試験の実施 1月29日

13. 広報事業

- ・「かも福祉会だより」発行 1回
- ・ホームページ更新 随時

特別養護老人ホーム 笑寿苑

(入所定員：長期 50 名、短期 10 名、地域密着型 20 名)

1. 入居者等の状況 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

出身地		小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
雲南市	加茂町	38		4	8	10	16
	大東町	18		2	3	6	7
	木次町	6			1	2	3
	三刀屋町	3			2		1
	掛合町						
	吉田町						
江津市							
松江市							
合計		65	0	6	14	18	27

2. 入居者の年齢構成 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

年齢構成	人数
100 歳以上	5 名
90 歳～99 歳	26 名
80 歳～89 歳	26 名
70 歳～79 歳	8 名
60 歳～69 歳	名

最高齢 103 歳、平均年齢 88.6 歳【前年度 88.8 歳】、平均介護度 4.0【前年度 4.1】

3. 年度中の入居者移動状況

入苑者数	22 名【前年度 15 名】
退苑者数	26 名【前年度 16 名】

4. 短期入所利用者数

月	利用者数	利用延べ日数	稼働率
1 月	32 人	222 日	71.6%
2 月	37 人	256 日	91.4%
3 月	38 人	293 日	94.5%

平均稼働率 92.6%【前年度 91.5%】

5. 職員配置数

職 種	合計	正規職員		臨時・嘱託
		専従	兼務	
施設長	1		1	
事務職員	4		4	
介護支援専門員	1		1	
生活相談員	1		1	
看護職員	6	3		3
機能訓練指導員	1	1		
介護職員	39	33		6
管理栄養士	1		1	
介助員	1			1
夜間警備員	3			3
合 計	58	37	8	13

6. 事業収入

①笑寿苑（単位：千円） 前年対比：102.9% 計画対比：102.7%

年度	介護報酬	利用者負担金	居住費 補足給付	居住費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
28年度	199,147	21,990	14,078	14,932	20,322	12,994	283,463
計画	201,646	20,655	14,795	13,764	21,334	11,669	283,863
29年度	206,311	22,577	14,166	15,247	20,332	13,012	291,645

②短期入所（単位：千円） 前年対比：101.4% 計画対比：96.9%

年度	介護報酬	利用者負担金	滞在費 補足給付	滞在費利 用者負担	食費 補足給付	食費 利用者負担	合 計
28年度	24,913	2,777	419	3,470	507	3,531	35,617
計画	26,160	2,934	312	3,641	381	3,849	37,277
29年度	25,430	2,826	482	3,422	483	3,471	36,114

7. 行事・事業の実施状況

月	行事・事業
4月	レントゲン撮影、花見ドライブ、かも福祉会新人研修
5月	家族会総会（清掃奉仕作業）、加茂中学校奉仕作業
6月	笹巻き作り、うんなん糖尿病サークル
7月	避難訓練、夏祭り
8月	七夕会、家族会役員会、ライオンズクラブ草刈り奉仕作業、島根医大受験生実習
9月	敬老祝賀会
10月	介護労働安定センター実習生受け入れ、衆議院議員不在者投票、ハロウィン
11月	おやつバイキング、運動会
12月	忘年会、クリスマス会、連合島根奉仕作業

1月	新年会、ホームケア実習生受け入れ
2月	節分祭、おやつバイキング、高齢者虐待の防止に係る研修
3月	ひな祭り会、避難訓練

※ちょっこし外出～随時

※笑笑（にこにこ）便り 年4回発行

8. 各種研修会及び会議への出席状況

- ・認知症介護実践研修
- ・栄養士研修
- ・ユニットリーダー研修
- ・糖尿病サークル
- ・リスクマネジメント研修
- ・ケアマネ研修
- ・身体拘束廃止（権利）研修
- ・職員会、主任者会 毎月
- ・各種委員会 随時
- ・リハビリ指導（相談）毎月

【考 察】

1. 収入について

- ・事業収入については、概ね順調に推移している。全体では321,140千円の計画に対し、327,759千円となっている。（計画対比 102.1%）
- ・長期は計画・前年実績ともに上回ることができたが、短期は前年実績は上回っているものの計画には及ばなかった。要因としては、1月にインフルエンザの蔓延防止のために一時的に利用制限を行ったこと、定期利用者の他施設入所や長期入院等が挙げられる。今後も各居宅介護支援事業所や関係機関との連携を強化し、利用率の向上を図り、経営の安定につなげたい。

2. 感染症について

- ・今年も全国的にインフルエンザ等の感染症が猛威を振るうなか、当苑は数名の職員と利用者がインフルエンザに感染した。今年の特徴としては何といても「A型とB型が同時に流行している」ことである。1月中にB型に罹患する人も多く、施設内では手洗い、消毒、外部からの訪問者にもマスクを着用していただくことで、蔓延防止に努めた。

3. 施設サービスについて

- ・地域密着型（ユニット）においては、2ヶ月に1回、運営推進会議を開催し、地域住民や保険者、ご家族に対して私たちが提供しているサービス内容等を明らかにし、“地域に開かれた施設”を目指すと同時にサービスの質の向上につなげることができた。

4. 家族会行事について

年間計画である奉仕作業・夏祭り・敬老祝賀会を計画通りに実施できた。

苑から出掛ける“ちょっこし外出”の企画では、わずかな時間でも利用者が自宅に帰り、家族や近隣の皆さんと一緒に過ごすことが出来て、利用者や家族に大変好評をいただいている。

5. 実習生・ボランティア・地域交流について

実習生の受け入れを積極的に行っているが、専門学校自体が定員割れしているため、厳しい状況が続いている。

地域交流の一環として、地元の保育園児に来てもらった。短い時間ではあるが、元気な子供たちとの触れ合いを楽しんでおられた。

6. ターミナルケアについて

施設で最期まで看取った方は 14 名（23 名中）であった。半数以上の方を施設で看取っており、今後医療・看護・介護の連携を密にして体制を充実させたい。

7. 資質向上の取り組みについて

※平成 29 年度資格取得者

- ・精神保健福祉士 1 名
- ・介護福祉士 1 名
- ・介護実務者研修 1 名
- ・介護支援専門員（ケアマネージャー） 0 名

8. 今後の課題

①介護（看護）人材確保

②設備の老朽化…空調設備、屋根の雨漏り、食堂照明、リフト付車輛、自動ドア等
（※早急に対応が必要なもの）

養護老人ホーム 宇寿荘

(入所定員：80名)

(1) 第一種社会福祉事業

(2) 養護老人ホーム「宇寿荘」事業 入所定員80名

1、入所等の状況（平成30年3月31日現在）

出身地	小計	非該当	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
雲南市	74	25	10	12	14	2	9	2
出雲市	3	3						
合計	77	28	10	12	14	2	9	2

2、入居者の年齢構成（平成30年3月31日現在）

年齢構成	人数
90歳～99歳	28名
80歳～89歳	26名
70歳～79歳	18名
60歳～69歳	5名

最高齢 98歳、 平均年齢 84.9歳

3、年度中の入所者の実績

	入所者数	退所者数	平均入所数	稼働率
平成28年度	12名	14名	77.7名	97.1%
平成29年度	11名	10名	77.4名	96.8%

4、事業収入(単位：千円) 前年対比 95.9% 計画対比 103.7%

	介護保険事業	措置事業	合計
平成28年度	90,792	149,775	240,567
予 算	66,518	145,566	212,084
平成29年度	82,635	148,116	230,751

5、外部サービス提供状況（年間延べ） 月平均利用者数 44.1名 平均介護度 1.9

	利用人数	利用回数	前年対比
基本サービス	529	20,890	110%
訪問介護	522	39,472	105%
通所介護	61	309	89%
認知症通所	300	2,561	106%
福祉用具	246	837	99%
訪問リハ	48	373	99%

6、職員配置数（平成 30 年 3 月 31 日現在）

職 種	員数	正規職員	臨時
施設長	1	1	
生活相談員	4	4	
事務職	2	1	1
看護職員	1	1	
機能訓練指導員	1	1	
支援員	13	8	5
介助員	2		2
管理栄養士	1	1	
夜間支援員	3		3
合 計	28	17	11

7、行事・事業の実施状況

4 月	桜花見	10 月	交通安全指導、秋季遠足
5 月	交通安全指導、節句	11 月	地域交流運動会、収穫祭、避難訓練
6 月	創立記念日、家族会、健康診断	12 月	クリスマス会、歳末法要、忘年会
7 月	避難訓練、七夕祭り、収穫祭	1 月	新年祝賀会
8 月	盆法要、納涼祭	2 月	節分、健康診断
9 月	敬老祝賀会、彼岸法要	3 月	彼岸法要

*その他、誕生会・健康体操・各クラブ活動は毎月実施

8、研修参加状況

職場外研修 合計 38 回 延べ 57 人参加（他施設実習含む）

職場内研修 合計 11 回 延べ 198 人参加

【考 察】

① 経営基盤の安定について

- ・介護保険収入は、平成 28 年度の補助金事業収入 12,755 千円を除く前年対比は 105.5%、計画対比 124.6%であった。介護保険サービス利用者の増加（106%）と、要介護 4，5 の利用者が前年比 2.7 倍と重度化が進み、訪問介護サービスの利用が増えたことなどが要因である。

- ・措置費収入は前年対比 98.9%、計画対比 101.7%であった。

② ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作りについて

- ・各職員がご利用者への対応について目標を定め実践し、信頼関係の向上に努めた。
- ・楽しみ生きがい教室として生け花教室、書道教室などを月 1 回定期開催した。

③ 業務効率の改善とリスクマネジメントの構築について

- ・感染症対策として、吐物処理の演習を行い迅速な初動対応に備え、感染症の蔓延を防止した。

- ・ご利用者向けに口腔ケアや感染症予防の勉強会を開催し、口腔衛生の意識啓発と感染予防に努めた。

- ・業務改善委員会を中心に、業務改善や効率化、サービス向上に取り組んだ。

④ 人材育成の強化について

・グループホーム実習を通じて認知症の対応方法を学び、グループワークや勉強会を行い現場での実践に生かした。

・研修委員を中心に研修テーマを検討し、内部研修を月1回定期開催した。

外部研修については、多様なニーズに対応できるよう必要なスキルを習得し、現場で実践した。

・資格取得を奨励し、介護福祉士2名、介護支援専門員1名が取得した。

デイサービスセンター愛あいの家

(定員：12名)

第二種社会福祉事業

(3) デイサービスセンター愛あいの家 開設日数257日・利用定員12名

1、利用状況

年 度	延べ利用回数	延べ利用者数	月平均利用者数	1日平均利用者数
平成28年度	2,427回	293人	24.4人	9.5人
平成29年度	2,573回	300人	25.0人	10.0人

2、介護度別延べ利用回数

年 度	要支援	要介1	要介2	要介3	要介4	要介5	平均介護度
平成28年度	205	1,270	419	283	148	102	1.8
平成29年度	240	1,028	987	90	224	4	1.7

3、事業収入(単位：千円) 前年対比105.7% 計画対比96.8%

年 度	事業活動収入
平成28年度	21,248
予 算	23,205
平成29年度	22,450

4、職員配置状況

管理者	生活相談員	介護職員	看護職員	合 計
1名(兼務)	1名(兼務)	2名	1名(兼務)	5名

5、事業の実施報告

4月	花見ドライブ	10月	調理レク(おやつ作り)
5月	園芸週刊	11月	秋の運動会・紅葉ドライブ
6月	端午の節句(笹巻団子作り)	12月	忘年会・鍋会食・クリスマス会
7月	行事食(団子汁作り)	1月	新年お茶会
8月	七夕祭り会	2月	節分
9月	敬老会(宇寿荘合同)	3月	ひな祭り

6、各種会議及び研修会への出席状況

1) 各種会議

1. 運営会議(随時)
2. 運営推進会議(2回)
3. 通所介護部会・総会(1回)
4. サービス担当者会議(随時)
5. 職員会議(毎月)

2) 研修会

1. 苦情解決研修会（1回）
2. 集団指導研修（1回）
3. 認知症ケア研修会（2回）
4. 通所介護部会研修会（2回）
5. 職場内研修（4回）

【考察】

- ① 経営基盤の安定について
 - ・ 事業収入は前年対比 105.7%、計画対比 96.8%であった。
 - ・ 業務効率化や水道光熱費などのコスト削減を実践した。
- ② 職員の資質向上について
 - ・ 宇寿荘と合同の内部研修会に参加し専門性を高めた。
 - ・ 関係機関の職場体験実習の受け入れを積極的に行った。
 - ・ 利用者・職員アンケートをしてミーティング等で業務見直し、接遇面などサービス向上に努めた。
- ③ 地域との連携強化について
 - ・ 運営推進会議を年2回開催し行政、地域住民、家族の方と意見交換し、サービス向上に努めた。
 - ・ 宇寿荘との合同の地域交流会、交流センターに利用者作品展示を行う。また、保育園へ作品を持参し地域交流を図った。
- ④ リスクマネジメントの強化について
 - ・ 利用者の心身の状態に合わせて個別支援を実施すると共に、事故防止に努めた。
 - ・ 宇寿荘と情報共有を図りながら、手洗い・うがいの励行を促し、感染予防に努めた。

ヘルパーステーションかも

【介護保険】

① 介護度別利用者数（累計） 前年対比：86.8%

年 度	事業対 象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
28年度	0	16	54	47	91	44	12	23	287	2.0
29年度	12	20	32	44	74	47	11	9	249	1.9

② 利用状況

【介護保険】 訪問回数 前年対比：85.0%

年 度	開設日数	延べ訪問回数	1月平均訪問	1日平均訪問	1月利用者数
28年度	365日	6,352回	529.3回	17.4人	23.9人
29年度	365日	5,397回	449.8回	14.8人	20.8人

【障害者総合支援ヘルプ】 訪問回数 前年対比：99.8%

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
28年度	147人	1,425回	118.8回	12.3人	9.7回
29年度	149人	1,422回	118.5回	12.4人	9.5回

【生活管理指導員派遣事業・生活支援ヘルプ】 訪問回数 前年対比：0%

年 度	延べ利用人数	延べ訪問回数	1月訪問回数	1月平均利用数	1人利用回数
28年度	9人	73回	8.1回	1.0人	8.1回
29年度	0人	0回	0回	0人	0回

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：91.6% 計画対比：102.7%

年 度	報酬収入	負担金収入	自立支援給付費	生活管理指導員	外部受託収入	合 計
28年度	16,876	1,786	7,174	156	5,688	31,680
計 画	15,149	1,917	6,861	1	4,340	28,268
29年度	14,185	2,201	7,866	0	4,773	29,025

④ 職員配置状況（平成30年3月31日現在）

管理者（サ責兼務）	サービス提供責任者	訪問介護員	登録ヘルパー（パート）
1名	3名	1名	9名（常勤換算3名）

【会議・研修会出席状況】

- *ヘルパーミーティング、雲南地域訪問部会・自立支援部会（毎月） 各種委員会（随時）
- *雲南地域訪問介護部会研修（3回） 職場内研修（5回） 職場外研修（6回）

【考察】

- ① 介護保険事業について
今年度後半特に、高齢者の死亡や入所等で大幅に利用者が減少したため、計画に対して事業収入も減となる。
- ② 自立支援事業について
利用者の入院や死亡もあったが新規利用者もあり事業収入は増加した。
- ③ 外部サービスについて
宇寿荘と連携を図り積極的に訪問した。
- ④ 利用者アンケートについて
利用者、家族共に「ヘルパーを利用して良かった、今後もぜひ利用したい」との結果だった。今後も更に利用満足度が高まる様努力したい。
- ⑤ 広報誌による情報提供について
アンケート結果を広報誌（年1回）に掲載し情報提供を行った。
- ⑥ 登録ヘルパーの確保について
高齢ヘルパーの退職や産休等あったがスムーズな対応に努めた。今後も人材確保に努めたい。
- ⑦ 資質向上について
研修会へ積極的に参加し資質向上に努めた。
- ⑧ 実習生の受け入れについて
実習生の受け入れを行い介護人材の育成に協力した。
- ⑨ 適切なケアの実施について
「自己評価」で振り返りを行い、ヘルパーミーティングで情報共有を図り利用者の状態に適したケアの実施に努めた。
- ⑩ 今後の課題について
介護保険利用者は、施設志向が高まっており在宅サービス利用者の減少が見込まれる。そのため更なる関係機関との連携を図り利用者の確保に努めたい。また、障がい利用者は対応が難しく、相性が合わないヘルパーは受け入れを拒否されることもあり、人材確保と資質向上で選ばれる事業所を目指したい。

加茂デイサービスセンター

(定員：35名)

① 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：105.5%

年 度	事業対 象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
28年度	0	71	246	185	267	98	61	58	986	1.8
29年度	28	101	210	178	339	120	42	23	1,041	1.7

② 利用状況 利用回数 前年対比：98.5%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1人平均利用
28年度	308日	8,547回	712.2回	27.8人	8.7回
29年度	308日	8,427回	702.2回	27.3人	8.1回

③ 事業収入 (単位：千円) 前年対比：97.1% 計画対比：99.1%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	外部受託収入	合 計
28年度	66,135	7,468	5,353	3,569	82,525
計画	64,697	7,179	5,514	3,426	80,816
29年度	64,312	7,195	5,477	3,148	80,132

④職員配置状況 (平成30年3月31日現在)

課長 (※1)	係長 (看護・機能訓練・口腔兼務)	生活相談員 (※2)	看護職員 (嘱託)	作業療法士
1名	1名	2名	1名	1名

介護職員 (※3)	送迎運転手
9名	3名 (パート)

※1：管理者・生活相談員兼務

※2：介護職員兼務

※3：専従＝5名 嘱託＝1名 臨時＝2名 障害者雇用＝1名

⑤ 事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ 外出（由志園）	10月	外出（出雲大社）・運動会
5月	外出（出雲大社）・園芸	11月	外出（フォーゲルパーク）
6月	外出（フォーゲルパーク）・笹巻作り	12月	忘年会・鍋会
7月	二十三夜祭り・ショッピング・カラオケ	1月	初詣・初釜
8月	ドライブ・ショッピング	2月	節分
9月	敬老会・園芸・外食	3月	園芸・ドライブ

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年4回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回（12月）	職員個人面談	1回
職場体験学習（中高生）	2名	実習生受入れ（トリニティカレッジ）	2名
		介護者の集い	12回

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
将棋サロン	2回	児童クラブ	6回
二十三夜祭り作品展示	1回	小学生茶道クラブ	1回
加茂図書館作品展示	1回	宇寿荘、笑寿苑交流	2回
かもてらす作品展示	1回		

(4) 会議・研修会出席状況

【会議】

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会	1回	職員会、各委員会	12回
雲南市ケア会議	1回		

【研修会】

研修会名	出席者数	研修会名	出席者数
通所介護部会研修（雲南・県）	9名	老施協県大会、中国大会	2名
認知症実践者研修	1名	他 外部研修（人材育成）	9名

【考察】

① 事業収入について

・前年度末より死亡や施設入所等で重度の方の利用が減った影響を受け、今年度も重度の方の利用が減った。新規利用者は積極的に受け入れていたが軽度者のため利用回数が増えず、単位数も低いため収入も伸び悩み、その結果、前年対比、計画対比ともに下回った。

②個別ケアについて

・その方の経験を生かして、役割をもって取り組んでもらったり、認知症の方については、その方にできるプログラムを組んだり、塗り絵やパズルなどのクラブ活動を実施することで、生きがいのある支援に取り組んだ。希望に添っての外出や外食は利用者の方より好評であり継続していく。

③ 職員の資質向上について

・外部研修の後に伝達研修や勉強会を実施し資質向上に努めた。各委員会で接遇や介助方法などの検討を行い、質の高いサービス提供ができるよう努力した。

④ 家族との連携について

・年1回の家族会に加え、介護者の集いを月1回開催した。また、アンケートの実施によりご利用者、ご家族との思いを共有する機会がもてた。

・家族の方に外出時のボランティアを募集したところ5名の参加があった。デイサービスの活動を知っていただく機会にも繋がった。

⑤ 地域交流について

・児童クラブなど小学生と交流することができ、ご利用者や子供たちに喜ばれた。ふれあい祭り、よっといで祭りが中止となったが、加茂図書館に作品展示を行った。

・プランターに花を植え、かもてらすに飾ることを実施した。利用者の方と水やりをおこない、一緒に管理を行う事ができた。

デイサービスセンターほほえみ

(定員：12名)

① 介護度別利用者数 (累計) 前年対比：108.3%

年 度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計	平均介護度
28年度	1	0	100	103	46	4	10	264	1.93
29年度	0	0	110	91	62	4	19	286	2.05

② 利用状況 利用回数 前年対比：109.6%

年 度	開設日数	延べ利用回数	1月平均利用	1日平均利用	1月利用者数
28年度	308日	2,853回	237.8回	9.3人	22.0人
29年度	308日	3,126回	260.5回	10.1人	23.8人

③ 事業収入 (単位：千円) 前年対比：126.4% 計画対比：112.4%

年 度	報酬収入	負担金収入	食費等利用料収入	合 計
28年度	28,929	3,107	1,487	33,523
計 画	32,470	3,568	1,662	37,700
29年度	36,583	3,930	1,875	42,388

④職員配置状況 (平成30年3月31現在)

課長 (※1)	生活相談員	看護職員	介護職員 (※2)	送迎運転手
1名	2名 (介護兼務)	1名	3.5名	3名 (パート)

(※1) 管理者・看護職員・生活相談員兼務

(※2) 1名専従・2臨時・パート常勤換算0.5名

⑤ 事業の実施状況

(1) 月別行事

月	事業名	月	事業名
4月	花見ドライブ (桜)	10月	ミニ運動会・カレー作り・福祉まつり作品作り・干し柿作り
5月	花見ドライブ (つつじ)・チャレンジデー参加	11月	ドライブ・花植え・おやつ作り (蒸しパン作り)・家族会
6月	笹巻作り・花見ドライブ (紫陽花)	12月	クリスマス会 (踊り・マジック・ダンス)・忘年会 (鍋会)
7月	カレー作り・避難訓練	1月	初釜
8月	七夕飾り・おやつ作り (フルーツポンチ)	2月	節分・おやつ作り (ロールケーキ)
9月	敬老会 (演芸)	3月	ちらし寿司作り

(2) 年間事業

事業名	回数	事業名	回数
広報誌	年3回発行	アンケートの実施	1回
家族会	1回(11月)	職員個人面談	1回
運営推進会議	2回(9月・3月)	介護者の会	9回

(3) 地域交流事業

事業名	回数	事業名	回数
児童クラブ	1回(6名)	チャレンジデー参加	1回

⑥ 会議・研修会出席状況

(1) 会議

会議名	回数	会議名	回数
サービス担当者会議	随時	職員会議	12回
通所介護部会総会	1回	管理者会議	12回
雲南市ケア会議	1回	集団指導	1回
運営会議	7回	ケース検討会	随時

(2) 研修会

会議名	回数	会議名	回数
通所介護部会研修会	2回(5名)	リスクマネジメント研修	1名
ドライビングスクール	1名	認知症研修会	1名
職員全体研修(交通安全・感染症・人権研修・救急法)	4回(25名)	メンタルヘルス&コミュニケーション研修	1名
県老協協研修大会	1名		

【考察】

① 事業収入について

・前年対比126.4%、計画対比112.4%で収入増となった。

4月から12月までは一日平均10名以上確保することが出来た。1月から3月については入院・入所・インフルエンザの感染等にて平均10名を下回ったが、年間を通しては延べ利用回数も前年度より273回増え、中重度の方の利用が多かったことが収入増に繋がった。

② 資質の向上について

・利用者アンケートの実施と、毎月接遇目標を掲げ利用者の思いに添ったサービスが提供できるよう努めた。

③ 感染症について

・インフルエンザについて、今年はA型、B型が同時に流行し、発熱がなく軽度の風邪症状の方も感染されていたため、利用者3名、職員2名感染となったが、手洗い・消毒・マスクの着用にて蔓延防止に努めた。

④ 地域交流について

- ・児童クラブとの交流を行い利用者には喜んで頂いた。
- ・加茂図書館に利用者の作品展示を行った。

⑤地域や家族との連携

- ・運営推進会議（9月と3月）を開催し、地域住民や行政と意見交換を行った。
- ・月1回の介護者の集いと、11月に家族会を開催し「食べやすい食事について」の講義や意見交換を行った。

⑥広報活動について

- ・広報について年3回発行することができ、ご家族様には喜んで頂いている。

⑦その他

- ・2月の大雪では、ご利用者の安全確保のため、早めの送迎を行い、翌日には休業としたが、別日に利用を振り替えるなどの対応を行った。

かも福祉会居宅介護支援事業所

① ケアプラン作成数 前年対比：105.6%

年度	ケアプラン作成数（介護）	ケアプラン作成数（予防）	合計	月平均ケアプラン作成数	ケアマネ1人当たり作成数
28年度	1,379	435	1,814	151.1	30.2
29年度	1,471	446	1,917	159.7	31.9

② 介護度別ケアプラン作成数

年度	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均介護度
28年度	0	124	311	399	580	221	101	78	1,814	1.86
29年度	11	146	289	408	689	242	80	52	1,917	1.79

③ 事業収入（単位：千円） 前年対比：106% 計画対比：111.4%

年度	居宅介護支援介護料収入	包括支援C受託収入	訪問調査受託収入（※）	合計
28年度	21,403	1,907	389	23,699
計画	20,382	1,842	324（120件）	22,548
29年度	22,745	1,972	394	25,111

※の（ ）内は訪問調査件数

④ 職員配置状況（平成30年 3月31日現在）

課長（管理者） 主任介護支援専門員	主任	介護支援専門員
1名	1名	3名

⑤ 会議・研修会

会議・研修会名	回数	会議・研修会名	回数
ミーティング	毎週	県・雲南ケアマネ協会・部会研修会	7回
福祉会全体研修	4回	地域ケア会議（包括支援C開催含）	2回
介護支援専門員（更新）関係研修	4回	事例検討会	5回
ハラスメント・成年後見制度研修会	2回	各連絡会・連携会議	4回

【考察】

① ケアプラン作成数について

ケアプラン作成数（介護）は、年間を通して目標の月110件を切ることは無かった。新規利用者数は、前年度46件より今年度は5件多く51件であり、今後も受け入れを継続する。

② 介護度別利用者数について

介護度別では、要介護 1～3 の利用者数が増加しているが、在宅での介護負担増加に対しては、施設の動きも早く入所・入院を考えられるご家庭も増えてきており、平均介護度も低くなり軽度化も進んでいる。

③ 訪問調査について

今年度は介護支援専門員 1 名増により件数も 103 件伸び、収入も前年・計画対比共に上回ることができた。訪問調査受託収入も前年を上回ることができたが、今後認定有効期間も 2～3 年間と長期期間のケースも増えてきており、調査件数が少なくなる傾向にある。

④ 地域貢献について

地域貢献については、6 月に北大西ふれあい会館にて「認知症の対応について」講義・寸劇などの福祉講座を開催することができた。認知症の理解を深めてもらい、事業所を知っていただく機会になった。

かも社会就労センター

(利用定員 30 名)

① 利用者数： 35 名 (男性 21 名・女性 14 名) (平成 30 年 3 月 31 日現在)
 身体障害：7.5 名 知的障害：16.5 名 精神障害：10 名 難病：1 名

② 利用状況 (平均年齢：49 歳・最高齢：74 歳・最年少：19 歳) 前年対比：106.2%

年度	開所日数	延べ利用者数	1 月延べ利用者数	1 日当り利用数
28 年度	309 日	6,796 人	566.3 人	21.9 人
29 年度	306 日	7,216 人	601.3 人	23.6 人

③受託加工取引業者と作業内容

- ・株式会社 山光：自動車部品の加工
- ・ナカバヤシ株式会社：ファイルの加工
- ・協栄ファスナー：自動車部品の加工
- ・(株) ソノ：タオルの袋詰め
- ・小早川製粉：蕎麦の実袋詰め作業 (不定期)
- ・シンメイ：食品カップ等袋詰め (H28.5～)
- ・宇寿荘：洗濯 (H29.10～)
- ・笑寿苑：洗濯・掃除
- ・信書便事業 (H25.3～)
- ・つつじホール事業 (H26.4～)
(利用料・葬儀準備片づけ等)
- ・ヒカリ電子：箱詰め作業
- ・テクノマーチ：お菓子袋詰 (H29.10～)
- ・加茂信書便 (H28.4～)

④就労支援事業収入 加工賃売上高 (単位：千円) 前年対比：122.7%

年 度	受託加工事業	清掃活動事業	味噌加工・木耳事業	つつじホール事業	信書便事業 (※)	合 計
28 年度	4,844	1,728	565	1,041	2,680	10,858
29 年度	5,408	1,969	0	3,750	2,195	13,322

⑤事業収入 (単位：千円) 前年対比：111.8% 計画対比：132.6%

年 度	訓練等給付費	利用者負担金	計画相談支援(※1)	その他 (※2)	合 計
28 年度	45,479	1	2,499	45	48,024
計 画	38,435	180	1,893	10	40,518
29 年度	50,672	263	2,691	90	53,714

(※1) は、計画相談支援給付費収入+委託収入

(※2) は、調査費

⑥つつじホール事業

	ミーティングルーム		研修室		葬儀（研修室利用数の内数）	
	28年度	29年度	28年度	29年度	28年度	29年度
4月	12	11	10	7	10	7
5月	8	15	5	9	5	9
6月	8	14	5	8	5	8
7月	10	13	4	6	4	6
8月	7	17	3	11	3	11
9月	9	12	6	6	6	6
10月	9	12	4	9	3	9
11月	17	15	9	10	8	9
12月	7	15	5	12	5	12
1月	10	11	8	7	8	7
2月	8	4	5	3	5	3
3月	10	15	5	11	5	11
合計	115	154	69	99	67	98

⑦職員配置状況（平成30年 3月31日現在）

管理者	係長（相談支援専門員）	生活支援員	職業指導員	目標工賃達成指導員
1名	1名	3名（内2名臨時）	3名	1名（臨時）

【考察】

- ・利用者数は冬季に2名死亡者が出た。年度当初4月時点は33名であり年間では2名の増。延べ利用者数は420名の増。要因として利用者数、出勤率の増が考えられる。就労支援事業収入は信書便事故の影響を懸念したが結果的には受託事業の増加効果により前年対比122.7%、事業収入は前年対比111.8%と増収となった。障害支援区分調査も順当にこなしており29年度は16件調査を行っている。（H28年9件）10月より職員1名増員(0.5)を図ったが繁忙な状況は変わらない。
- ・前年より精神障害者、発達障害者が増えており身体障害者も高齢の方が多いことから随時相談に乗り些細なことで退所や欠勤につながらないよう他の相談事業所等関係機関とも連携を図っていく。
- ・職場実習の希望者が2名あり障がい者就業生活支援センターアーチと連携を取り紹介された実習施設で体験してもらうことができた。今後も一般就労をめざす希望者には支援を継続していきたい。
- ・ホームケア、養護学校等実習生を積極的に受け入れ、また新年会、茶話会等を開催、楽しみのある行事を企画したり地域の方との交流の機会を設けた。冬季に入りインフルエンザ感染者が4名出たが、うがい手洗いの徹底、マスク着用、早めの休養を訴え蔓延は

しなかった。職員の感染者はなかった。2月は大雪に見舞われたが欠勤が続く利用者は出なかった。

- ・年間を通し相談, 就労系, 苦情解決等各種研修に参加、職員の資質向上に努めた。
- ・つつじホール事業は葬儀回数が年間 31 回増となり同様にミーティングルーム、研修室とも利用が大幅に増える結果となった。葬儀については駐車場整備の効果も考えられる。

事業収入集計 (単位：千円)

(進捗率 100%)

事業所名	前年度	計 画	実 績	前年対比	計画対比
笑寿苑長期	283,463	283,863	291,645	102.9%	102.7%
笑寿苑短期	35,617	37,277	36,114	101.4%	96.9%
宇寿荘	240,567	212,084	230,751	95.9%	108.8%
愛あい	21,248	23,195	22,450	105.7%	96.8%
ヘルプ	31,680	28,268	29,025	91.6%	102.7%
加茂デイ	82,525	80,816	80,132	97.1%	99.2%
ほほえみ	36,652	37,700	37,700	126.4%	112.4%
居宅介護支援	23,697	22,548	25,111	106.0%	111.4%
就労センター	48,024	40,349	53,714	111.8%	133.1%
合 計	803,473	766,090	806,642	100.4%	105.3%

加茂健康福祉センター かもてらす

(1) 入館者数 前年対比：98.7%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28	2,373	2,764	2,655	3,852	3,118	2,910	3,926	2,505	2,237	2,396	2,425	2,322	33,483
H29	2,441	2,576	2,474	3,324	2,960	2,794	3,192	2,744	2,454	2,621	2,754	2,707	33,041

【考察】

平成28年度は、市長及び市議会議員選挙が行われたり、よっといで祭りの開催により入館者数が多かったが、平成29年度は、これらの要因はなかったもののB&G海洋センターの改修工事に伴いB&G利用者が流れてきたことや加茂企業団地の企業進出説明会、幼稚園竣工祝賀会などのイベントもあったが、前年度には及ばなかった。

(2) 入浴者数 前年対比：99.6%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H28	1,570	1,754	1,453	1,750	1,605	1,504	1,543	1,419	1,326	1,331	1,366	1,495	18,116
H29	1,569	1,547	1,448	1,703	1,561	1,327	1,420	1,513	1,413	1,442	1,533	1,571	18,047

【考察】

当浴場は、ほぼ固定客の利用であり、固定客自体の人数は殆ど変わりないが、利用回数の増減によるところが大きく、今年度は前年度と比較して0.4%程度下回った。